

教科書の改訂に伴う取り扱い内容の異動に関する資料

四年「ことわざ・故事成語」

学習用資料①②は、小社ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。(「小学校 国語」>「教科書の改訂に伴う取り扱い内容の異動に関する資料」)

小社『国語』教科書では、平成二十三年度版四年で扱っていた「ことわざ・故事成語」を平成二十七年版から三年で扱うことに変更いたしました。そのため、今年度の四年生に、当該事項を学習していただくための学習用資料をご用意いたしました。

■学習用資料について

①教材「ことわざ・故事成語」(本誌P.26・27)

授業内で扱っていたことを想定した資料です。一見開きで、ことわざ・故事成語を一ページずつ取り上げました。

②ワークシート「ことわざ・故事成語」

児童の家庭学習などで、補助的にご使用いただける資料です。「ことわざ」「故事成語」をそれぞれ一枚ずつ用意しております。

■ご指導にあたって

本資料は、教材の性質上「慣用句」の学習時に合わせて扱うことを想定しております。その際、「慣用句」と同一単元として扱う場合と、独立した二つの単元として扱う場合が考えられます。ここでは、学級や児童の状況に合わせて適宜ご活用いただけるよう、「ことわざ・故事成語」を単独で扱う場合の計画例を示します。「慣用句」の扱いにつきましては、小社『小学校国語 学習指導書 四下』(P.62～68)をご参照ください。

指導計画例

●指導目標

◎長い間使われてきたことわざ・故事成語の意味を知り、生活の中で使うことができる。(伝国(1)ア(イ))

●計画例(全二時間)

- 1 教材文を読み、ことわざ・故事成語について知る。
- 2 設問のことわざ・故事成語の意味を調べて短い文を作り、友達が作ったものとは比べるなどし、使い方の理解を深める。

●評価規準

- 【関】 ことわざや故事成語に興味をもち、意味を調べようとしている。
- 【言】 ことわざ辞典などを使って、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べ、文中で使っている。

用語解説

●教材

さるも 木登りが得意なはずの猿も、木から落ちることがあるように、名人といわれる優れた人でも、時には失敗をすることがあるということ。

石の上にも三年 冷たい石の上にも、三年座り続ければ温まることから、つらくても我慢してがんばれば、やがてなすとげられるということ。

頭かくしてしりかくさず きじが、草の中に頭を隠して、尾が見えているの知らない様子から、悪事や欠点などの一部を隠して、全部を隠したつもりでいること。

五十歩百歩 意味▼ 多少の違いはあるものの、大きな違いではないこと。
言葉の由来▼ 孟子という人物が、自分の国をよく治めているつもりで王様に、「戦いの場から五十歩逃げた兵が、百歩逃げた兵を笑うことができるか。」というたとえ話をし、自分の国も他の国とあまり変わらないことに気づかせた。

漁夫の利 意味▼ 二人が争っている間に、他の人が苦労せずに得をすること。
言葉の由来▼ 蘇代という人物が、ある国を攻めようとしてい

蛇足

意味▼ 必要のないものを加えることで、全体をだめにしてしまうこと。
言葉の由来▼ 誰が蛇の絵をいけば早く描けるか、競争した初めに描き上げた人が、他の人がまだ描いているのを見て、調子に乗って、余った時間で蛇に足を描き足した。すると、「蛇に足はない。」と言われて負けました。

矛盾

意味▼ 物事のつじつまが合わないこと。
言葉の由来▼ 昔、中国の楚という国に、矛と盾を売る商人がいた。商人は、「この矛はどんな盾でも突き破ることができる。」と自慢し、また、「この盾はどんな矛でも防ぐことができる。」と自慢していたが、ある人に「その矛でその盾を突いたらどうなるのか。」と言われ、答えに困ってしまった。

●ワークシート

ちりも積もれば山となる ほんなに僅かなものでも、数多く積み重ねれば、大きなものになるということ。

帯に短しすきに長し 中途半端で、何の役にも立たないこと。

花よりだんご 美しいものよりも、実際に役立つもののほうがよいということ。

寝耳に水 思いがけない、突然の出来事に驚き、慌てること。

時は金なり 時間は大切なもので、むだに使ってはいけないということ。

良薬は口に苦し 本当に自分のためを思っしてくる注意や忠告は、聞くのがつらいということ。

先んずれば人を制す 他人よりも先に行動すれば、有利な立場に立つことができるということ。

杞憂 心配しなくてもいいことを心配すること。

推敲 詩や文章の表現をいろいろ考え、何度も直すこと。

他山の石 他の人や物事の良くないところを参考にして、自分に生かすこと。

言葉 ことわざ・故事成語

「急がば回れ」という言葉を耳にしたことがありますが。この言葉には、急いでいるときは、きけんな近道よりも、遠回りでも安全な方法をとったほうがよいという意味があります。



このように、生きていくうえでのおちえや教えを、短い言葉や言い回しで表したものを、ことわざといえます。

ことわざにはた短い言葉で、昔の中国の話がもとになってできた言葉を、**故事成語**といえます。

・百聞は一見にしかず
意味 人から何度も聞くよりも、一度、自分で見たほうがよく分かるということ。

言葉の由来 ある兵が、王様から戦いに行くことを命じられた。どのような作戦を立てるかたずねられた兵は、

「百聞は一見にしかずです。遠くからでは、何回知らせを聞いても戦いの様子は分かりません。馬を走らせて、近くに行って見てきましょう。」と言った。



15

10

ことわざの本や辞典を使って、次のことわざの意味を調べてみましょう。

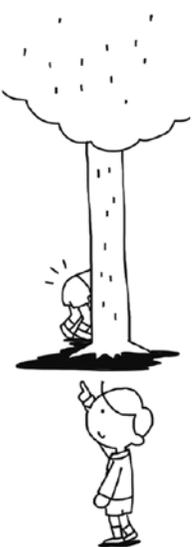
・さるも木から落ちる



・石の上にも三年



・頭かくしてしりかくさず



5

・蛍雪の功

意味 苦勞して勉強すること。また、その結果。

言葉の由来 まずしくて明かりにする油が買えないので、夏の夜に蛍の明かりで勉強した人がいた。また、同じく油が買えず、冬の夜に雪明かりで勉強した人がいた。後に、二人とも出世した。



次の故事成語の意味も調べてみましょう。

・五十歩百歩

・漁夫の利

・蛇足

・矛盾

10

ことわざや故事成語の中には、時代に合わなくなったものや、使い方によって相手をいやな気持ちにさせるものもあります。気をつけて使しましょう。